

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	相模湖漕艇場
指定管理者	特定非営利活動法人神奈川県ボート協会
指定期間	H21. 4. 1 ～ H27. 3. 31
施設所管課	スポーツ課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

施設の魅力向上のため、提案した取組みを着実に実施した。
 具体的には、指定管理者が艇庫保管艇の無料メンテナンスサービスを実施するなど、利用者サービスの向上に資する取組みが成果として現れたことから、今期（平成24年度下半期）の利用者数は前年同期対比で40%以上も増加しており、今年度上半期の利用者数と合せた年間総利用者数も、前年度に比べて20%以上も増加している点、特に評価に値する。
 また、施設の維持管理面については事故等もなく安全に管理されており、特筆すべき苦情・要望等も報告されていないことから、利用者との良好な関係が保持されていることが窺え、全体として適正な管理運営が行われていると考えられ、収支状況も良好であることからA判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日	11月29日	○	—	○	無	
11月	12月10日	12月27日	○	—	○	無	
12月	1月9日	1月31日	○	—	○	無	
1月	2月8日	2月28日	○	—	○	無	
2月	3月8日	3月28日	○	—	○	無	
3月	4月9日	5月10日	○	—	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	艇庫保管艇の無料メンテナンスサービスの実施	1 2月：アダプティブボートフロートの修理及び塗装を実施した。 日体大カヌーの修理及び塗装を実施した。 1月：杏林大のボート（4×+）の修理を実施した。 3月：杏林大のボート（4×+）の修理を実施した。 ※艇庫保管艇数 187艇 (H25. 3. 31現在)

	提案内容	実施状況
2	競技の振興と地域振興に対する協力	<p>○平成24年10月27日及び28日 第56回相模湖レガッタ（主催：神奈川県ボート協会）の開催に伴い、同大会の準備段階から協力を行なった。 142チーム参加（延べ1,001名）</p> <p>○「クリスマスイルミネーション」や「公園内植樹」など、県立相模湖公園の指定管理者である相模湖観光協会への協力を通じて、地域振興の一翼を担った。</p> <p>平成24年11月13日 公園内植樹実施 平成24年12月1日～24日 クリスマスイルミネーション</p>
3	その他施設利用者へのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・練習後におけるシャワー施設の開放 ・貴重品ロッカーの管理・トレーニング機器（エルゴメータ）及びトレーニング施設の開放 ・各種大会開催への全面的な協力 など
4	事故防止のための対策と体制づくり	<p>水難救助マニュアルに基づき、水難訓練を実施し、日ごろから水難意識を確認、励行することにより、非常時に迅速かつ的確な行動が取れるような体制づくりに努めた。</p> <p>さらに、利用者の出艇時間を管理し、目視による監視、気象、湖水状況などの変化を把握し、利用者に対して的確なアドバイスや警告を行なった。</p>
5	環境に配慮した施設運営	<p>漕艇場を管理するにあたり、省エネや環境美化、景観に配慮した取組みを行なった。</p> <p>具体的には、閑散時における自動ドアやエレベータ等の電源を落として節電に努めたり、湖面の管理について、湖岸に漂着する流木やゴミを定期的に回収・処分することにより、湖の浄化・美化に貢献した。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		19,843	1,781	0	21,624	21,624	0
予算額	前年度	19,627	1,781	0	21,408	21,408	0
	上半期	9,459	891	0	10,350	10,350	0
	下半期	10,168	890	0	11,058	11,058	0
	今年度	19,627	1,781	0	21,408	21,408	0
	上半期	9,459	891	0	10,350	10,350	0
	下半期	10,168	890	0	11,058	11,058	0
下半期実績額	10月	1,516	164	0	1,680	1,659	21
	11月	1,560	99	0	1,659	1,561	98
	12月	2,390	57	0	2,447	2,557	▲ 110
	1月	1,474	25	0	1,499	1,539	▲ 40
	2月	1,542	282	0	1,824	1,487	337
	3月	1,686	444	0	2,130	2,193	▲ 63
	今年度 下半期合計	10,168	1,071	0	11,239	10,996	243
	前年度 下半期合計	10,202	1,279	0	11,481	11,458	23
	対前年度下半期比			③	-2.1%	-4.0%	
	参考	今年度 上半期合計	9,425	1,233	0	10,658	9,565
	今年度 合計	19,593	2,304	0	21,897	20,561	1,336

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：10万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期	420	平成24年12月 ボイラー修理
合計	420	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	2,769 人	1,538 人	80.0 %
11月	463 人	1,259 人	▲ 63.2 %
12月	612 人	502 人	21.9 %
1月	252 人	274 人	▲ 8.0 %
2月	638 人	218 人	192.7 %
3月	2,302 人	1,212 人	89.9 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	9,000 人	10,866 人	9,855 人	20.8 %	10.3 %
今年度下半期計	6,023 人	7,036 人	5,003 人	16.9 %	40.7 %
今年度合計	15,023 人	17,902 人	14,858 人	19.2 %	20.5 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	神奈川県の高校生と山梨県の高校生の合宿が3月に実施されたため、増となった。
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)					

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)					

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

艇庫保管艇の無料メンテナンスサービスを実施するなど、利用者サービスの向上に資する取組みが成果として現れたことから、今期（平成24年度下半期）の利用者数は前年同期対比で40%以上も増加しており、今年度上半期の利用者数と合せた年間総利用者数も、前年度に比べて20%以上も増加している点、特に評価に値する。

また、施設の維持管理面については事故等もなく安全に管理されており、特筆すべき苦情・要望等も報告されていないことから、利用者との良好な関係が保持されていることが窺え、全体として適正な管理運営が行われていると考える。

今後、取組みを強化すべき点や改善すべき点としては、ボート教室の内容の見直しを行い、リピーターを更に増やすことや、アダプティブ（障害者）利用者の積極的な受け入れと施設の改善（バリアフリー化等）が挙げられる。